

論文内容の要旨

氏名	黒田 勉	専攻名	情報工学専攻	学籍番号	06TA528C
論文題目	情報機器予約管理システムの構築に関する研究				
<p>近年は情報社会の進展に伴い、勤務先の高等学校でも、情報機器を使った授業への取り組みが高まっているだけでなく、情報機器は学校業務においても欠くことのできないものとなっていることが感じられる。このような中、校内では教員や生徒による情報機器の貸出が増えたが、その予約方法は以前と変わらず、情報機器室に置いてある予約簿の帳面に手書きをしているままであった。このため、情報機器保管室まで行かないと、借りたい機器の予約が出来るかどうか分からない状態であり、多くの教員が情報機器の貸出について不便を感じていた。各職員室において各自のパソコンから全ての教員が予約状況を確認・予約できれば便利であると考えていたが、今回信州大学で情報工学を学ぶ機会を得たことと、職場のネットワーク管理を担うことになったため、情報機器の予約管理システムについて研究したいと考えるに至った。</p> <p>有料のソフトウェアに高額なお金を払ってシステムを構築しても、現場の人間のニーズに合っていないければ有用なものにはならない。また、自由に使いやすく変更出来るものでなければ、いざいざ不要なシステムになってしまう。利用者が使いやすいシステムとは実際に使っている現場の人間が自由に作り変更出来るものであると思う。一般的に便利な既存システムを使うのではなく、現場で働いている人間がその現場の実情から必要なものを作ったらどの様になるか、自分自身がシステムを構築する中で研究することをねらいとし、さらには現場の人間が作るシステムの有用性について研究したいと考えた。また、必要最小限のシステムではあるがその分使いやすく、導入と管理が行いやすいシステムを作成できれば、多くの学校において校務に貢献できるのではないかと考えた。</p> <p>まず、情報機器室において手書きで書き込む予約簿を廃止し、校内LANにエクセルで作成した予約簿を公開した。これにより、各職員室から予約状況を確認し、予約を行えるようになった。次に、校内の誰もが、分かりやすく、簡単で、素早く予約を行えることを目標として、PHPにより予約管理システムを作成した。</p> <p>これにより、予約貸し出しの利便性向上、情報機器活用の促進、利用者からの苦情減少、現場担当者によるシステム構築の有効性について実証した。また、今後の課題について検討を行った。</p>					

(1000字程度)